



学校だより

文責 校長 伊藤 由美子

光る目・光る心・光る汗の一貴山っ子

いっしょうけんめいの目で勉強

きもちのよい心であいさつ

たくさんあせを流して運動・掃除

◇6年生を送る会～ありがとう6年生～◇

今まで、一貴山小のリーダーとして、下級生の面倒を見たり、それぞれの委員会で学校生活をよくするための活動をしたりしてくれた6年生。2月18日(土)の「6年生を送る会」では、そんな6年生に対して今までの思い出を振り返り、在校生から感謝の気持ちを伝えました。



【1年生】

劇「ありがとう6年生」

入学当初から、6年生には、たくさんお世話になりました。自分たちが6年生にしてもらったことを劇にして振り返りました。あんなこと、こんなことあったでしょう♪



【2年生】音読劇「スイミー」

群読「まつり」

小さな赤い魚たちが、大きなマグロに立ち向かっていく姿や、一人一人がしっかり声を出した「まつり」の群読は、6年生へのエールになりました。



【3年生】

合奏「パフ」

「パフ」の優しい音色が、聞いている人を温かい気持ちにさせました。今年からリコーダーを始めた3年生でしたが上手に演奏できていました。



【4年生】ダンス「ダンスホール」
「心の地図」

軽快なリズムに合わせて、みんなが踊る姿は、これまでの練習の成果が現れていました。また、見ている6年生も元気をもらったことと思います。



【5年生】合奏「威風堂々」
表現「ミッキーマウス・マーチ」

クラッピングやミッキーマウス・マーチの表現では、全員の息がぴったりと合っていました。合奏では、最上級生になるという決意が伝わってきました。



【6年生】在校生へのメッセージ
合唱「旅立ちの日に」

さすが、6年生。たった18人しかいませんが、体育館に3部合唱の歌声が響いていました。下級生との思い出を胸に中学校へ進学してください。

◇いつもおいしい給食、ありがとうございます!給食記念週間◇

1月末から、各学級で給食記念日についての学級指導を行いました。この授業は、給食記念週間を機会に、給食の歴史や仕組みを知り、給食と給食調理員さんをはじめ、給食に携わる人々に対する感謝の気持ちを育てることをねらいとしています。

子どもたち全員で学年ごとに、いつも安全でおいしい給食を作ってくださいる調理員さんにプレゼントを渡しました。給食室前に掲示してあります。

日本の学校給食は、明治22年に始まり、各地に広がっていききましたが、太平洋戦争の影響などによって中断されました。しかし、戦後の食糧難により児童の栄養状態が悪化したため、学校給食再開の声が高まり、昭和21年12月24日、東京の一部の学校で学校給食が再開されました。この日は冬休みになることがあるため、1ヶ月後の1月24日を「学校給食記念日」とし、1月24日から30日までを「全国学校給食週間」と定められています。



◇一貴山小アート展◇

2月8日(水)の学習参観日に、体育館2階で一貴山小アート展を開催しました。1年生から6年生までの力作が揃い、子どもたちは、他学年の作品に良い刺激を受けていました。



◇春がもうそこまで◇

周りに目をやると、春は確実に近づいてきています。学校の周りにもたくさんの春の気配が感じられます。1年生のチューリップも、芽が出始めました。

